

令和元年台風19号における 活動について

はじめに

台風19号は、10月12日より関東甲信地方、静岡県、新潟県、東北地方で、降水量が観測史上1位を更新する大雨を各地にもたらした。結果、14都県391市区町村に災害救助法が適用される災害になった。災害医療ACT研究所（以下ACT）は、日本財団の支援を受けて展開している屋内設置型トイレ（以下ラップポン®）の備蓄・設置事業に基づき、13日より長野県、宮城県、福島県で活動をした。

活動期間・人数

	宮城県	長野県	福島県	岩手県
10月13日	2			1
10月14日	3	1		1
10月15日	4	2		1
10月16日	4	4	1	
10月17日	5	4	5	
10月18日	5	4	5	
10月19日	3	6	4	
10月20日	2	3	4	
10月21日	1	2	5	
10月22日	2	2	2	
10月23日	1	2	3	
10月24日	1	2	3	
10月25日	1	2	3	

宮城県

		ラップポン®	バッテリー	ラクアーム	ダンビー	消耗品
避難所	3	1 3	6	1 3	8	7 8
福祉施設	2	5		5		3 0
備蓄拠点	1					9 6
合計		1 8	6	1 8	8	2 0 4
回収		1 8	5	1 7	0	

宮城県

- ・うまくいった点

発災翌日から丸森町のある仙南地域保険医療調整本部に入ったことで、避難所及び副施設の情報を掴むことができた。また、保健所長や丸森町保健師の許可を得ることで、スムーズな設置につなげることができた。

- ・課題

宿泊場所、レンタカーの確保

長野県

		ラップポン®	バッテリー	ラクアーム	ダンビー	消耗品
避難所	5	15	6	15	14	90
福祉施設						
備蓄拠点	1	5		5		30
合計		20	4	20	5	120
回収		20	9	18		

長野県

- ・ うまくいった点

発災翌日から長野県の保険医療調整本部に入ったことで、避難所及び副施設の情報を掴むことができた。

現地の備蓄場所を日赤長野県支部に確保できた。

- ・ 課題

- ・ 宿泊場所、レンタカーの確保が困難であった。
- ・ 避難所責任者を説得するのが困難であった。

福島県

		ラップポン®	バッテリー	ラクアーム	ダンビー	消耗品
避難所	2	2				24
福祉施設	33	108	7	91	2	1068
備蓄拠点	1	32	85	41	14	264
合計		142	92	132	22	1092
回収		140	82	126		

福島県

- ・ うまくいった点
 - ・ 現地の備蓄場所をいわき市の施設に確保できた。
 - ・ 避難所でのノロウィルス感染対策して使用してもらった。
- ・ 課題
 - ・ 宿泊場所、レンタカーの確保が困難であった。

今後の課題

- 1 活動する人員を増員する必要がある
- 2 南海トラフや首都直下地震を考えたときに、今の備蓄では足りないかもしれない
- 3 レンタカー（トラック）の確保の方法
- 4 出来るだけ被災地に近いホテルの確保の方法
- 5 事業の継続性